

Wind-i

ウィンド・アイ

2014 vol.4

第四卷 第四号 二〇一四年十一月一日発行

アルソ出版

定価：本体価格1,750円＋税(税込1,890円)

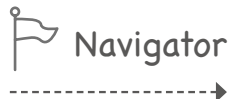
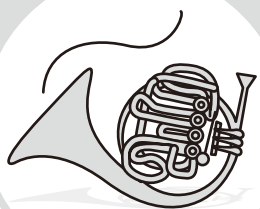
雑誌80587-11



4910805871148
01750

Horn

ホルン



下田太郎 Taro Shimoda

沖縄県出身。尚美学園卒。第14回日本管打楽器コンクール第三位。第67回日本音楽コンクール第三位。神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約奏者を経て現在フリーランス。
尚美ミュージックカレッジ専門学校講師。タッドウィンドシンフォニーのメンバー。

■ Q. 正しい姿勢は？

楽器を構えると楽譜が見えづらくて困っています。ホルンの正しい姿勢と譜面台の角度を教えてください。

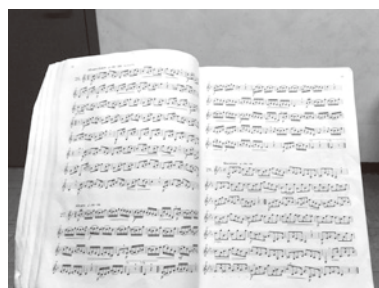
A. 楽譜を見た時の視界は……

人間の左右の視野はおおよそ200度程度と言われていますが、譜面台をあまり近付けすぎると自分のパート譜しか見え、しかも死角ができてしまいます。譜面台の高さは個人差がありますが、目からの距離はおおよそ50cm、少し顎を引くような姿勢で10度ほど下を見る（この

時に譜面の真ん中を見ても、視界に前の列の人や指揮者が見えるように譜面台への距離を確認しましょう）感じで楽器を構えて見ましょう（写真1は基本的な姿勢、写真2は譜面を見た時の視界です）。



【写真1】



【写真2】

■ Q. 音を真っ直ぐに伸ばしたい

高音のHigh F以上の音をppのきれいな音で伸ばしたいのですが、音が外れたり出てもブルブルしてまっすぐに伸ばせません。緊張してしまうというのもあると思いますが、対処法を教えてください。

A. 自分を追い込まずリラックスして

ここで書かれている「High F」とは上線2線目のことですか？ それとも第2間のFですか？ いずれにしても、多くの管楽器奏者に「高音コンプレックス」を持っているのは理解できます。すべての物事は「複合要素」で結果に繋がりますが、考えられることは、

♪「音を出さなければ、鳴らさなければならない」と無意識に自分を追い込んでいる

♪それに伴い身体の多くの部分（特に首や左腕、そして上唇）に無駄な力が入ってしまい、「出ない!」と焦ってしまう【悪循環】

♪息の初速が速すぎる上にタンギングがしっかり作れていない

♪上唇の周りの筋肉がしっかりと張れていない
（唇自体を固めてしまっている）

などが挙げられます。「高い音を吹こう」とは思わずに、「リラックスして身体の準備を練習テンポに委ねてイメージで狙ったところに息を送る」ことを大切に行ってみましょう。高音で悩む人の多くは「だいたいその辺」程度のイメージで息を「投げつけている」感じになっていることが多いです。まずは冷静に、出す音の音程をしっかりと頭でイメージして（声で歌っても良いでしょう。決して上半身を硬直させないように）楽に息を送りましょう。



曲目解説

P.134

Wind Overture (Wind-i 委嘱作品)

石毛里佳 作曲

タイトル通り、演奏会のオープニングに使えるような、序曲風で、華やかな雰囲気を出したいなあと思って作りました。

曲は序奏の後にテーマを繰り返す単純な構成です。

㉒までの序奏は華やかに、28小節目に向かって一旦少し落ち着きます。

28小節目からはメロディを歌いつつも淡々と、厳かに進んで欲しいです。㉒に向かって盛り上がり、㉒の間奏的な部分を、軽やかな感じで挟み、㉒からまた同じテーマが、1回目より力強く出てきます。それが㉒で更に広がって、そのままの勢いで㉒の序奏部分の再現～ラストまで行きます。

28小節目から大きなクレッシェンドが描いてもらえると嬉しいです。

(石毛里佳)

P.157

Ring Up the Curtain! 「さあ、開幕だ！」

吹奏楽コンサート・オープニング曲

(初出版作品)

伊藤康英 作曲

コンサートのオープニング、あるいはエンディングに使える短い作品です。

エンディングとしては、㉒から始め、㉒の前で終わります。

また、㉒からは各セクションのスタンド・プレイがありますので、楽器の紹介をすることもできます。

①②の部分では、ナレーションを入れると効果的です。

ナレーション例

① (㉒の1小節前(第7小節)) 「〇〇〇コンサートへ、ようこそ！」

② (㉒から) 「みなさま、こんにちは。〇〇〇コンサートへ、ようこそお越しくださいました。クリスマスもまもなくやってきます。今年はどんなクリスマスになりそうですか。今日の〇〇〇吹奏楽団の演奏が、みなさまへの一足早いクリスマス・プレゼントになりますように。最後までごゆっくりお楽しみください。(などと話しているうちに、すでに音楽終わり)。では、まず「〇〇〇」をお聞きください。(と、次の曲へ)。」

さまざまな工夫を凝らして、コンサートのオープニングを華やかに飾ってみてください。

この曲は、(今はもうありませんが)、倉敷チボリ公園(岡山県)内での吹奏楽団のコンサートのオープニング用に使われた作品で、もともとは1998年3月11日に作曲したものです。今は使われなくなりましたが、このたびのWind-iの「オープニング」を飾らせていただき、より多くの方々に演奏していただけるのをうれしく思っています。

(伊藤康英)

P.171

LET IT GO 映画「アナと雪の女王」より

小谷有人 編曲

P.197

コラール

飯島俊成 作曲



Ring Up the Curtain! 「さあ、開幕だ！」

吹奏楽コンサートオープニング曲（未出版作品）

伊藤康英 作曲

Allegro (♩ = 152)

A

Flute I

Flute II (also Piccolo)

Oboe

Bassoon

Clarinet in B^b I

Clarinet in B^b II

Clarinet in B^b III

Alto Saxophones in E^b I, II

Tenor Saxophone in B^b

Baritone Saxophone in E^b



Allegro (♩ = 152)

A

Horns in F I, II

Horn in F III

Trumpet in B^b I

Trumpets in B^b II, III

Trombones I, II

Trombone III

Euphonium

Tuba



Allegro (♩ = 152)

A

Timpani

Triangle, Snare Drum, Tom-toms & Wind Chime

Glockenspiel, Bass Drum, Tambourine & Cymbals

